別表　大分大学医学部看護学科新型コロナウイルス感染発生状況に応じた臨地実習指針(ver.5)

・臨床実習指針は、県内の新型コロナウイルス感染発生状況を踏まえ、医学部新型コロナウイルス感染症対策ワーキングチームにおいて判断する。

・実習可否の段階は、原則毎月第1・第3木曜日の医学部新型コロナウイルス感染症対策ワーキングチーム会議において検討する。

・実習可否については、段階の目安と施設内感染のリスク状況・医療提供体制・地域の感染状況で総合判断する。

・実習中に医学部の学生から感染者が発生した場合は、全ての施設での実習を一時中断する。

・原因不明の発熱、呼吸器症状などのある患者(環境)と学生の接触は避けるように留意する。

・△：施設(実習部署)ごとでの状況判断

実習可否の段階	めやす	臨地実習の基本指針	県内臨地実習施設（附属病院・医療施設・介護保険施設・デイケア施設・助産院・保健所・市町村・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所）													学内実習						オンライン実習	県外臨地実習
			日常生活ケアや観察技法の実施	問診・面談	看護スタッフのケアに同行・見学	スタッフミーティング・カンファレンスへの参加	検査室での見学	RH室での見学	電子カルテの閲覧	OPE	ICU	NICU	ER	外来スタッフに同行	施設・病棟内での学生カンファレンス	技術演習（モデル・シミュレーターでの個人学習）	技術演習（対人・グループでのロールプレイ）	事例展開（グループ）	事例展開（個人）	臨床講義	学内カンファレンス		
レベル0	大分県内において新型コロナウイルスによる市中感染がみられず、週あたり50人以下の感染者数。	通常通り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レベル1	大分県内において週あたり50人を超える感染者数。	臨地での患者/クライアントへの実践は一部制限付きで可	△ エアロゾル発生リスクがある場合は×	○ 15分以内/回	○	○	△ エアロゾル発生リスクがある場合は×	△ 3密に注意して	○	△	△	×	×	△ 看護師に動向	△	○	○	○	○	○	○	○	△ 大学の方針 + 施設の受け入れ
レベル2	大分県内において週あたり 250人を超える感染者数。	臨地での患者/クライアントへの実践や実習現場への立ち入りは制限付きで慎重に実施・学内実習可	△ エアロゾル発生リスクがある場合は×	△ 15分以内/回	△	△	△ エアロゾル発生リスクがある場合は×	△ 3密に注意して	○	×	×	×	×	△ 看護師に動向	△	○	○	○	○	○	○	○	△ 大学の方針 + 施設の受け入れ
レベル3	本院において院内感染が確認される。	臨地(現場)での実習は不可/学内での実習も学内や市中の感染状況を踏まえて慎重に判断する。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	▲	▲	▲	▲	▲	▲	△	×